

意見集約について（案）

意見集約の目的・進め方

- (1)目的：これまでの委員会での調査、検討事項やアンケート結果、並びにワークショップでの意見を踏まえ、委員会としての意見をまとめる。
- (2)進め方：意見書へ反映させる内容として、町が委員会に意見を求めた3つの事項（施設の要否、候補地、規模や内容）に加え、アンケートの設問とした「整備する場合の方法」を合わせた4点について、町の基本的な考え方や、アンケート結果、ワークショップの意見などを踏まえて作成した**事務局（案）**をたたき台として委員会の意見を整理する。
- (3)その他：意見書を作成する際に、「複数記載が可能な意見」や「選択が必要な意見」もあるが委員会の意見を最大限反映させるため両論併記も含めた検討を行う。

意見の集約メモ〔1-1 整備の要否〕について

ワークショップ発表内容の要約	事務局（案）
<p><u>○整備は必要。</u></p>	<p><u>アンケート結果では整備の要否について、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」が合わせて75%であり、委員会においても整備すべきとの総意となったため、要整備の方向で検討されたい。</u></p>

〔1-1 整備の要否〕に関する情報

参考情報

町の考え方

・近年の社会情勢や生活様式、特に冬季の降雪や異常気象による猛暑など気象状況等が大きく変化していることや、町民から子どもの屋内遊び場を求める声が多いため、天候に左右されることなく、いつでも子ども達が遊べる、屋内遊び場の整備に向けた検討が必要。

アンケート結果

整備の要否…「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」が75%。

また「どちらかといえば必要と思わない」、「必要ないと思う」、「わからない」が25%。

その内、整備が必要と思わない理由の61%が「利用する子どもがいないから」であった。

県内自治体の子どもの屋内遊び場整備状況

整備状況	市町村名
屋内遊び場施設が有る	16市2町 新潟市、長岡市、新発田市、十日町市、五泉市、上越市、加茂市、妙高市、村上市、小千谷市、魚沼市、見附市、三条市、阿賀野市、柏崎市、南魚沼市、阿賀町、出雲崎町
主に既存施設内で「子育て支援センター」として遊び場を整備している	2市4町3村 佐渡市、胎内市、聖籠町、田上町、湯沢町、津南町、弥彦村、刈羽村、関川村
現在整備中（又は検討中）	2市 燕市（2024オープン予定）、糸魚川市（DBO方式で募集・選定中）
屋内遊び場施設が無い	1村 粟島浦村

【資料3】

意見の集約メモ〔1-2整備する場合の方法〕について ～整備方法～

ワークショップ発表内容の要約

事務局（案）

新設の場合

○既存施設を改修する場合であっても多額の費用が必要であることや、耐用年数や老朽化に伴う修繕費などを考慮すると新設が良い。

改修の場合

○町財政面を考慮し改修するべき。

○既存の利用率の高い施設ではなく、現在使用していない施設を改修するべき。

どちらの場合でも…

○中途半端で「もう来なくてもいい」と思われるような施設にならないように整備をするべき。

○町の特色を活かし、他施設との差別化が必要である。

・アンケート結果では「既存施設の改修」が76%。「将来にわたる財政負担が増すのであれば、必要最低限又は既存の改修がよい」という回答が60%であったが、委員会では財政面での懸念はあるものの、新たな町のシンボル、地域活性化の観点から新設による施設整備を望む声が多くあった一方、財政負担を考慮し、既存施設の改修という意見もあった。

委員会において多くの意見のあった新設を前提としながらも、新設した場合と既存施設を改修する場合の中長期を含めた財政負担の比較、そして将来を見据えた施設の在り方を十分に精査し検討する必要がある。

なお、新設、既存施設の改修、いずれにおいても造れば良いというのではなく、子どもたちを含めた利用者がまた来たくなくなるような充実した内容の施設整備を望むものである。

〔1-2 整備する場合の方法〕に関する情報 ～整備方法～

参考情報

町の考え方

・将来における財政負担を考慮し、新たに整備するのではなく、既存の公共施設を改修することで、その目的達成することが望ましいと考えている。

アンケート結果

- ・どのような整備方法が良いか…「既存の施設の改修」という回答が76%。
- ・将来にわたる財政負担が増すのであれば、必要最低限又は既存の改修がよい」という回答が60%。

国立社会保障人口問題研究所の推計について

- ・聖籠町の人口は、2024年5月末現在 14,066人 (内、0～9歳 1,291人)
- ・2018年の社人研推計で町の2025年の人口は13,968人
⇒ 推計値は現況値とほとんど同じ
- ・社人研が今年新たに公表した推計値

2035年	13,516人	(内、0～9歳	1,124人)
2045年	12,859人	(//	1,064人)
2055年	12,063人	(//	959人)
2065年	11,126人	(//	834人)

近隣自治体の屋内遊び場整備方法

- ・新設⇒イクネスしばた(新発田市)、い～てらす(新潟市)、ラポルテ五泉(五泉市)
- ・改修⇒ユウネスしばた(新発田市)、プレイラボみつけ(見附市)、村上市屋内遊び場(村上市)、わくわくヒルズ(阿賀野市)

町公共施設等総合管理計画 (R5.3月改定版)

- ・町が保有する公共施設：77施設、総延床面積：104,526㎡
→ 人口一人当りの延床面積：7.86㎡/人
⇒ 全国平均3.42㎡/人の約2倍
- ・現状の施設の更新費用を総務省が示した基準で試算した場合、今後30年間で194億円(約6.5億円/年)の費用が必要となる。

概算整備費用について

- ・多目的屋内運動場を改修した場合
 - 全館空調…6億6,065万円
 - 一部空調…5億8,736万円
- ・多目的屋内運動場の同規模で新設した場合…9億3,423万円
※その他、土地の購入費や造成費などが別途必要。

将来負担額について

- ・デジ田交付金が充当され、残額全てを起債し15年償還した場合
 - 新設の場合(10億円想定)
初年度5千万円(以降15年間、毎年約3,300万円償還)
 - 改修の場合(約6億円想定)
初年度3千万円(以降15年間、毎年約2,000万円償還)

ランニングコストについて

- ・令和5年度の多目的屋内運動場の主な費用
 - 光熱水費：192万円
 - 管理業務委託料(日中・夜間1名)：370万円 など

意見の集約メモ〔2候補地〕について

ワークショップ発表内容の要約	事務局（案）
<p>新設の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アクセスが良く、駐車場の確保も見込める地場物産館と併せて整備をするべき。 ○役場前テニスコートや町民会館など町の中心エリアに整備をするべき。 ○観光も兼ねられるぶどう園の近くに整備をするべき。 ○既存の屋外公園（弁天瀉風致公園（ビオトープや屋外ステージ）、新潟県立聖籠緑地）付近に整備をするべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路アクセスが良い所、又は町の中心エリアで検討されたい。また、町観光スポットや商業施設への回遊など、既存の町地域資源の有効的な活用、有機的な連携が図られるよう併せて検討されたい。
<p>改修の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町民会館や多目的屋内運動場が良い。多目的屋内運動場の場合は、どの地区からも行きやすい、山倉、蓮野、亀代の順が望ましいが、狭い駐車場も整備をするべき。 ○現在使用していない旧こども園を活用するべき。 	

〔2候補地〕に関する情報

参考情報

アンケート結果

・新設の場合

具体的な場所…プラント周辺が22人で最も多かった。具体的には、ロッテリアなどが立地している側の駐車場や地場物産館の場所という意見が多かった。次いで、町の中心で他の施設も利用できるという理由で、町民会館周辺や役場周辺（図書館も含む）が多かった。また既存の公園（聖籠緑地公園・弁天湯風致公園など）の意見も多くあった。

・改修の場合

具体的な場所…「多目的屋内運動場」が26%で最も多かった。次いで「町民会館 多目的ホール」が19%であった。旧こども園（蓮野12%・亀代7%）の回答も多かった。

主な観光・商業エリア

果樹：観光さくらんぼ・ぶどう園（蓮野）、商業施設：プラント4聖籠店、聖籠地場物産館（蓮野）、温泉：聖籠観音の湯ざぶ〜ん館（諏訪山）、公園：弁天湯風致公園（蓮野）、その他：網代浜海水浴場（網代浜）

参考

・町施設（屋内である程度の広さを有する施設）

多目的屋内運動場1,395㎡（山倉（H11建築）・蓮野（H9建築）・亀代（H7建築））、町民会館（多目的ホール）（H1建築 336㎡）、聖籠地場物産館（H6建築 984㎡）※隣接店舗は644㎡、旧蓮野こども園（遊戯室）（S62建設 約288㎡）、旧亀代こども園（遊戯室）（S59建設 約210㎡）

【資料3】

意見の集約メモ〔3規模や内容〕について ～対象・利用料金～

ワークショップ発表内容の要約	事務局（案）
<p>対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ○0歳から小学6年生までを対象とした施設。 ○0歳から小学4年生をメインとした施設。 	<p>対象</p> <p>・アンケートでは、2歳以下がいる世帯では95%でおおよそ全ての世帯が屋内遊び場は必要と回答している一方で、12歳以下がいない世帯では67%と減少していることから、12歳以下を対象とした施設として検討されたい。</p>
<p>利用料金</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全員が無料。 ○町民は無料、町民以外は有料。 ○全員が有料。 年間パスポート制の導入も検討してほしい。 	<p>利用料金</p> <p>・アンケートでは、「一部負担もやむを得ない」の回答が64%であった。近隣自治体が整備する施設の利用料金を参考にするとともに、施設整備並びに維持管理に係る経費等の財政負担、施設を利用する方と利用しない方との公平性の観点も考慮し、利用者負担を求めるか否か判断されたい。</p> <p>また、有料とする場合は、年間パスポート制の導入や、町民への優遇措置についても併せて検討されたい。</p>

【資料3】

〔3規模や内容〕に関する情報 ～対象・利用料金～

参考情報

アンケート結果

- ・子どもの年齢区分別の屋内遊び場の必要性
 …子どもの年齢区分別で比較すると、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」の回答が、2歳以下がいる世帯で95%、13歳以上がいる世帯（12歳以下がいない）が67%で、子どもの年齢が低いほど必要だと思う方が多くなっている。
- ・子どもの年齢区分別の将来の財政負担を考慮した整備方法
 …「将来にわたる財政負担が増すのであれば、必要最低限又は既存の改修がよい」の回答が60%。
 子どもの年齢区分別で比較すると「財政負担が増しても整備すべき」の回答では、2歳以下がいる世帯で29%、13歳以上がいる世帯（12歳以下がいない）が13%。
- ・利用者負担に対する考え方
 …「一部負担もやむを得ない」の回答が64%。
 「利用者負担は求めない」の回答では、2歳以下がいる世帯で38%、3歳以上がいる世帯（2歳以下がいない）が35%。

県内屋内遊び場施設の利用料金体系

	有料	無料
新設 又は増設		7市1町 新潟市、長岡市、新発田市（イクネスしばた）、十日町市、五泉市、上越市、加茂市、出雲崎町
改修	1市 阿賀野市 (わくわくHills) 500円/90分	7市1町 新発田市（ユウネスしばた）、妙高市、村上市、小千谷市、魚沼市、見附市、三条市、阿賀町
その他		4市4町3村 <ul style="list-style-type: none"> ■商業施設テナントを活用(南魚沼市、柏崎市) ■既存施設を活用(佐渡市、胎内市、聖籠町、田上町、湯沢町、津南町、弥彦村、刈羽村、関川村)

【資料3】

意見の集約メモ〔3規模や内容〕について ～エリア・ゾーニング・遊具～

ワークショップ発表内容の要約	事務局（案）
<p><u>エリア・ゾーニング</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児、幼児、小学生と成長段階に応じたゾーニングを行い、安全を配慮すべきエリアはクッション性の床材とする。 ○音楽や図書、工作や学習など運動以外のエリア整備も行う。 ○多目的トイレや授乳室、おむつ替えスペース等の整備も行う。 	<p><u>エリア・ゾーニング</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでは、乳幼児だけが遊べるスペース等、乳幼児が安全で遊べる環境整備を求める回答割合が高いことから、成長段階に応じたゾーニングと安全に配慮したエリア分けについて検討されたい。
<p><u>遊具</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケート結果を踏まえた遊具を設置するべき。 ○障がいの有無に関わらず楽しめる遊具も設置するべき。 ○デジタル要素を取り入れた遊具を設置するべき。 	<p><u>遊具</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでは、遊び場に必要だと思う遊具として、ネットアスレチック、大型滑り台など大型遊具の回答が多い。また、6歳以上の子どもがいる世帯ではボルダリングやデジタル遊具への回答が多いことを踏まえ検討されたい。 また、障がいの有無に関わらず遊べるインクルーシブ遊具についても併せて検討されたい。

【資料3】

〔3規模や内容〕に関する情報 ～エリア・ゾーニング・遊具～

参考情報

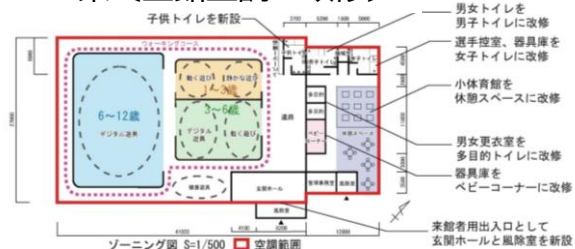
アンケート結果

- ・屋内遊び場に必要だと思う空間・設備・サービス
 - …乳幼児だけが遊べるスペースや柔らかい床、子ども用トイレなど乳幼児が安全で遊べる環境を望むものが多かった。
 - また、同伴者の休憩スペースも多かった。
 - 子どもの年齢区別で見ると、2歳以下と3歳以上の子どもがいる世帯では、「乳幼児だけが遊べるスペース」の回答割合が最も高くなっている。
 - 6歳以上と13歳以上の子どもがいる世帯と子どもがいない世帯では「こども専用トイレや洗い場」が少なくなっている。
 - 13歳以上の子どもがいる世帯と子どもがいない世帯では、同伴者の休憩スペースの回答割合が高くなっている。
- ・遊び場に必要だと思う遊具
 - …ネットアスレチック、タワー遊具、大型滑り台など大型遊具の回答が多かった。
 - 子どもの年齢区別で見ると、6歳以上の子どもがいる世帯では、ボルダリングなど体を使う遊具やデジタルを活用する遊具への回答割合が高くなっている。
 - ジャングルジムは最も少なく、流行の遊具や近隣の施設に少ない最新のものを望んでいると思われる。

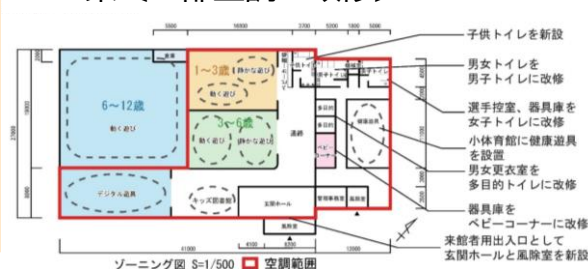
ゾーニング (案)

- ・多目的屋内運動場を改修した場合

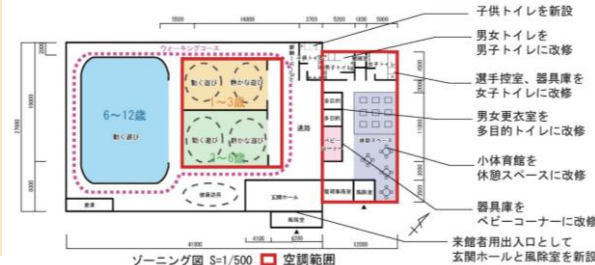
・ A案〔全館空調で改修〕



・ B案〔一部空調で改修〕



・ C案〔一部空調で改修〕



【資料3】

意見の集約メモ〔3規模や内容〕について ～その他～

ワークショップ発表内容の要約

- 年配の方と子ども達が遊びを通して交流できるなど、人と人との交流や体験を重要視した施設とするべき。
- 施設内には遊びを指導するスタッフや保育士も配置するべき。
- 平日の日中の有効利用として、一時預かりや児童発達支援事業所なども検討するべき。
- 複合施設として貸しスペースを作るべき。
- 同伴する保護者も楽しめる施設にするべき。
- カフェや飲食スペースも設置するべき。
- 全館冷暖房は必須である。

事務局（案）

- ・全館冷暖房は必須であり、施設内では、遊びの指導が可能なスタッフや保育士の配置、一時預かり事業の実施についても検討されたい。
- また、同伴する保護者も楽しめるカフェや飲食スペースの設置についても併せて検討されたい。
- なお、高齢の方と子ども達が遊びを通じた交流や体験ができる工夫も必要と考える。

〔3規模や内容〕に関する情報 ～その他～

参考情報

アンケート結果

屋内遊び場施設に対するご意見やご提案（自由記載）の内、〔規模や内容〕に関する主な意見。

- ・道の駅のような施設
- ・買い物などもでき、防災機能も備えた楽しい施設にしてほしい
- ・一時預かりも出来るようにしてほしい
- ・プールもあるといい
- ・小学生が広い空間で体を動かす環境がほしい
- ・障がい者も利用できる施設にしてほしい
- ・高齢者も子どもも一緒に遊べたら良いと思う
- ・空間のみの整備で、民間事業者に運営してもらう